

未来創造人

九州支店
アイランドシティ造成工事事務所
たかはし しゅん
高橋 俊 さん

母親が鹿島道路で舗装に従事していたことから同じ道を志した高橋さん。現在入社3年目を迎え、「アイランドシティオーシャンプレイスII、III、IV街区宅地造成工事」に携わっている。杭ナビを使った測量にも初挑戦し、担当技術者を務めるのは今回で2件目。高橋さんが重視するのは協力会社の技術者とのコミュニケーションだ。プライベートな会話を交え、話しやすい環境作りに余念がない。実は前現場での悔しい経験があるという。「私の知識不足から現場の作業が一時中断したこと



がありました。その時、不安があればすぐに相談する重要性を痛感したんです。反省を踏まえ、積極的に周囲と関わり、笑顔を絶やさない。

「インフラ整備の段階から見てきたので、人が暮らす光景を見るとすごいなと思います。誇りですね」と語り、すでに施工が完了した街区では人々の生活が始まっている。開発はこれからも続く。趣味の愛車でドライブをしながら、自身が礎を築いたこの地が発展する姿を彼は今後も眺めるだろう。芽生えた誇りがさらに高まるに違いない。

周囲との親密な関係が

現場運用の基盤に

きっと、未来に続く道

KIT PLUS



THE PROJECT

Creating the Future



福岡・博多湾に浮かぶ人工島「アイランドシティ」。
21世紀の先進的モデル都市とすべく開発が進むなか、
宅地造成の一部を鹿島道路が担うこととなる。
それは防災も快適もかなえる、生活を支える施工だった。

新しく生まれた街で
人の暮らしの基礎を作る



About the Project

アイランドシティオーシャンプレイス
II、III、IV街区造成工事

発注者：積水ハウス株式会社、西日本鉄道株式会社
工期：2018年12月1日～2022年1月31日
工事場所：福岡県福岡市東区香椎照葉27番192号ほか
工事内容：排水性舗装、歩道、自然石舗装車道・歩道、
緑石、電線共同溝特殊部・管路、給水管、汚水
排水工、汚水人孔、マンホール、汚水本管・
取付管、自然石積み、土工事



プロジェクトの舞台は「アイランドシティ」。博多港の機能強化を目的とした浚渫で生じた土砂を活用し、建設した人工島だ。福岡市中心部から車で約30分という立地の良さもあり、産業用地としてはもちろん、住宅地整備や高層マンション建設が積極的に行われている。鹿島道路では全4街区(全305区画)

の宅地造成を請け負い、まず2017年に福岡営業所がI街区19,288平方メートルを施工。次に九州支店がII・III・IV街区85,882平方メートルを若築建設株式会社との共同企業体で施工し、まもなく工期終了を迎える。安心して安全な生活環境作りや、福岡市が掲げる「快適な都市空間の形成」の実現に、鹿島道路

の高い技術が求められた。

安全な生活を守る要義の一つに「災害予防」がある。アイランドシティにおいても、ライフライン強化を目的に無電柱化を推進。街区内の車道部分を1.3メートルほど掘り起こし、上下水道、電線共同溝(電気・通信)、ガスといったインフラを地中に配した。埋立地であることを考慮



し、施工には最良の改良土を使用した。さらに、街区内は車の速度を抑制する道路設計が採用されており、緩やかなカーブを描いた道路が続く(写真上)。各交差点ではカラー舗装(写真下)によって視覚的に注意喚起を行うなど、きめ細やかな配慮が多数。アスファルトフィニッシャーと人力での細微な技術が、高齢者や子どもが安全に暮らせる住環境の支えとなっている。ほかにも石垣には福岡・久留米地方で採石された耳納石(P4写真参照)を用い、熟練の石職人と協力して行った施工などもあったという。まもなく施工は完了するが、アイランドシティの

Technology

インフラ整備から 都市景観美の創造まで

歴史は始まったばかりだ。福岡市の新たな都市拠点を作り、成長の翼を担うこのプロジェクトの成功は、10年、20年と時が経つほどに、その有意性が高まるに違いない。



“ 災害に負けない街の基盤造りを目指して ”

災害対策と環境改善をかなえる 「排水性・透水性舗装」

街区の災害対策は重要課題だ。そこで街区内の道路には、透水性のあるポーラスアスファルト混合物を用い、車道に排水性舗装、歩道には透水性舗装を整備した。高速道路ではハイドロプレーニング現象の予防や、雨天時の区画線の視認性向上、静音性を目的に多用されているが、アイランドシティでは大雨時の雨水流出の抑制が重視された。また車道では、側溝をアスファルト舗装下に整備。美しい景観はもちろん、車道幅の拡大や事故防止などの安全性、保全・メンテナンス性の向上など、多くの利点が認められている。



(写真上) 雨水を集める側溝が、水を通すアスファルト舗装の下に施工されている
(写真下) 通信ケーブルやガス管などのインフラ設備を地下へ埋設し、景観美化とライフライン強化を両立

会社の未来を担う後進の育成に励む日々

工事事務所に一步入ると、水槽に色彩鮮やかな熱帯魚が泳ぐ。周囲にはメダカが暮らすコンテナも並ぶ。作業員の毎日の癒しになればと世話をするのは現場代理人の前田さんだ。



プロジェクト開始当初、入社32年目を迎える彼にとっても、これほど大規模な宅地造成は初めてだったという。2017年の前身工事を含めて約4年間にもわたる工事の終了を目前に、前田さんが語ったのは人が傷つく事故がなかったことの喜びだった。常に「油断大敵」と声掛けを行い、作業員間での注意喚起を意識付けし、リスク低減に努めてき

た。「もちろんまだ油断は禁物ですが、作業員一人ひとりにこの想いが伝わっているんだと思います」と笑顔がこぼれる。

さらに重視したのは後進の育成だ。施工技術、現場での段取り、書類管理における知識継承や、安全意识・原価意識の醸成を目指してきた。将来の鹿島道路を支える人材を育てることは容易ではなく、自問自答の日々。「先に答えを教えないとすぐに忘れてしまう。まずは自



アイランドシティ造成工事に現場で尽力する面々

(写真左から) 関連各社の連携を束ねる担当技術者・鹿島道路九州支店 木暮 寛 / 多くの作業員とともにプロジェクトに参加した協力会社・松尾建工株式会社の松尾 政徳社長 / 今後の活躍が期待される若手・鹿島道路九州支店 高橋 俊 / 大規模プロジェクトを推進する大役を担った鹿島道路九州支店 前田 博史



Project Leader

まえだ ひろふみ
前田 博史

九州支店
アイランドシティ造成工事事務所
工事事務所長

1990年入社。今プロジェクトの前身となる「アイランドシティオーシャンプレイス1街区造成工事」から現場代理人として携わる

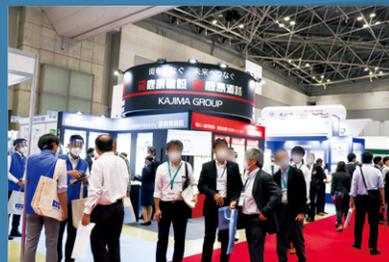
分で考えて試行錯誤することで、経験と知識を蓄積してほしいんです」と語る。そんな折、前田さんは体調を崩して半年ほど現場を離れた時期があった。図らずも自らが不在にした現場をしっかりと守ってくれた部下たちの活躍を知り、これまで実直に向き合ってきた若手の成長を実感できたと教えてくれた。

引き渡しを終えた街区には家が建ち、生活が始まっている。前田さんが「快適な暮らしを当たり前に感じてほしい」と語るように、造成技術やその恩恵を人々が直接感じることはないかもしれない。しかし、楽しそうに散歩する家族の笑顔が、プロジェクトに携わった全員の喜びと誇りとなることは確かな事実だ。

“ 4年の長期プロジェクトで無事故を守る責任 ”

KAJIMA ROAD'S WORKMAN SHIP

未来を創る鹿島道路の力



DATA

ハイウェイテクノフェア2021
— 高速道路を支える最先端技術 —

開催日：2021年10月6～7日
場所：東京ビッグサイト
主催：(公財)高速道路調査会

高速道路の建設・管理技術の普及や活用の推進に焦点をあてた展示会。
企業や大学などが参加し、最先端技術や工法の情報発信や情報収集を行った

【ハイウェイテクノフェア2021】に出展

10月6日・7日の2日間「ハイウェイテクノフェア2021」に、当社は鹿島建設と共同出展した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年ぶりの開催となった同フェアには延べ11,769人が訪れ、鹿島ブースにも350人を超える多くのお客さまが来場された。

鹿島ブースのテーマのひとつは「維持補修」。橋梁のコンクリート床版に対応し、防水性を確保しながら施工時間を短縮できる「ハイパーグース」、施工が簡易で、なおかつ高耐久型の常温補修材「ハイパークールパッチ」、アスファルト舗装の表面に貼るだけでひび割れを補修できる「PMR99+」、耐久性・耐油性に優れ、長寿命化が図れる「AKD舗装」を展示。道路や橋などのインフラ老朽化は喫緊の社会課題で

あり、効率的、かつ安全に施工ができるこれらの技術に多くの質問が寄せられた。

もうひとつのテーマ「ICT」に関しては、舗装の施工管理を一元的に行える自社開発したアプリケーション「KSSL」と、トンネルなど電波が届かない現場で通信を可能にするIoTデバイス「コネまる」を展示。来場者の関心も高く、「こうした新技術を今後のスタンダードにすべき」と共感の声が聞かれた。

企画・運営を担当した営業部の田邊浩一さんは「直前までフェア中止の可能性があったなか、まず開催できたことが大きい。来年以降はテーマにSDGsも盛り込み、社会課題の解決に寄与する鹿島道路の製品・事業をさらにアピールできれば」と抱負を語った。

新規技術を
紹介！



補修材とIT系技術について特にお問い合わせが多く寄せられた。
具体的に導入を検討される方も



2日間にわたり、商品知識の豊富な社員がブースできめ細かなお客さま
対応に当たり、鹿島道路の技術力をアピールした

VOICE

出展に参加した感想は？



生産技術本部
ICT施工推進室
担当課長
しよや たけひこ
渋谷 武彦

「KSSL」をはじめ、社会ニーズにマッチするICT施工関連技術を紹介しました。「密」を回避しながらアピールするという難しいミッションが課された今回の出展を通し、前後のPRやフォローなど持続的なアクションの必要性を感じました。



営業本部
営業部
技術営業課
さとう ふみこ
佐藤 文子

道路関係者の方はもちろん、大学や研究施設など、普段あまり接点のないお客さまの質問にお答えできるのが、こうしたフェアの良さですね。全体的にITを活用した展示が目立ち、今後当社もさらに力を入れるべき分野だと思いました。



営業部
技術営業課
課長代理
たなべ こういち
田邊 浩一

緊急事態宣言が明けてすぐの開催という点を鑑みれば盛況だったと思います。直接集まるのが難しい状況の中、手探りで準備を進めざるを得ず苦心しましたが、この貴重な経験は来年度以降に活かしていきたいと考えています。

鹿島道路の仕事を知ろう!

The Job Directory

仕事図鑑

Vol.1

設計

初回は設計部門を代表して、本店・東京支店・関東支店で設計業務に携わる皆さんにお話をうかがいました。

お客さまからの指名は評価の証、
「次もよろしく」のひと言が力になります。



生産技術本部
工事部 調査設計課 課長代理

いとう よしのり
伊藤 吉紀

▶現在の担当業務
文化施設・物流施設・工場などの
外構設計、土木構造物の設計

あのとき引いた線が現実のものになる。
完成時の感動もひとしおです。



関東支店
技術部技術課 課長

はせがわ こういち
長谷川 剛一

▶現在の担当業務
外構設計を通じた営業支援業
務、工事支援業務、社内技術
教育業務

設計業務 (せつけいぎょうむ)

ショッピングモールなどの商業施設や工場、物流倉庫の外構(建物の外にある構造物)設計を中心に、土木構造物の設計も手掛ける。受注につなげる営業支援、施工効率を向上させる工事支援の役割も担い、営業・施工現場と協力し受注から完工まで携わる。合理的で低コストな工事の実現に向けて、設計図にどう落とし込むか日々検討を重ねている。出張講座の開催や資格取得支援など、若手社員の技術力向上を図る取り組みにも注力している。



若手社員向けの設計技術の研修の様子



外構の工事内容を打ち合わせ



安全で効率的な施工技術をチームで検討

Q. 設計の仕事で大切なことは?

伊藤 現場担当者が見やすく、理解しやすい設計図を作るだけでなく、お客さまが鹿島道路に依頼してよかったと思っただけの設計にすることです。コスト面なども意識しながら、最適解となる設計に導けるよう心がけています。

長谷川 設計するだけで終わりではなく、お客さまがオーダーしたものを完成させるまでがわれわれの仕事です。だからこそ営業や現場に深く関わり、設計を通して「そこで何をしたか」を常に意識して業務にあたっています。

竹内 現場から寄せられる依頼の中には経験のない内容もありますが、試験所や詳しい部署に相談しながら、可能な限り支援するよう努めています。ニーズに応えるため、お客さまとのコミュニケーションも重要です。

田代 仕事では、土木や外構に関する経験や知識が求められる場面が多々あります。外構設計のプロとして時に指導もしながら、全国のゼネコン建築設計担当者の方々との打ち合わせを密にし、顧客満足度の高い仕事を目指しています。

Q. 仕事のやりがいを感じるのはどんな時?

伊藤 お客さまに「また次の案件も伊藤さんで」と言っていただいた時は、自分の設計が評価されたのだなと感じてとてもうれしいです。鹿島道路の設計部門は施工まで携わることができ、それもやりがいになっています。

長谷川 ものづくりの現場に携わっている実感はこの仕事の大きな魅力です。実物の完成時には、自分が引いた線が形になった感動と、「もっとここは工夫できる」という気づきがあり、それが次の仕事へのモチベーションになっています。

竹内 設計は一人で行っている印象もありますが、打ち合わせを重ね、問題が発生したらその解決策を探し、皆で力を合わせてゴールを目指す楽しさがあります。それだけに、苦しかった現場ほど完成時の達成感は大きいですね。

田代 鹿島道路は施工中心の会社であるだけに、施工者に有利な設計や受注を引き寄せる設計など、設計を通じて「川上」の部分から携わることができる面白さがあります。自分の設計で現場がうまく回ると、やはりうれしいですね。

設計も「つくる」仕事。
苦しかった現場ほど
大きな達成感があります。



東京支店
技術部設計課 課長

たけうち ともゆき
竹内 智之

▶現在の担当業務
外構設計、営業支援、工事支援、
協議・調整

施工まで一貫して携われるところに、
この仕事の面白さがあります。



生産技術本部
工事部 副部長兼調査設計課長

たしろ あきお
田代 暁央

▶現在の担当業務
物流施設や廃棄物処理施設の
外構設計、電子部品メーカー
の開発変更申請業務